

第12回 名取川・阿武隈川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会

第7回 名取川・阿武隈川下流等流域治水協議会

開催目的・概要

- 名取川・阿武隈川下流等の流域では、水防法に基づき減災・水防に関わる情報共有を目的に「名取川・阿武隈川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会」を平成28年5月に設立。さらに、近年頻発している水害の激甚化・頻発化に備え、流域全体のあらゆる関係者が協働して取り組む「名取川・阿武隈川下流等流域治水協議会」を令和2年9月に設立。流域の安全確保に向け、様々な検討を進めてきた。
- 「第12回名取川・阿武隈川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会」では、**大規模氾濫時の減災対策について、流域自治体との意見交換を行った。**また、「第7回名取川・阿武隈川下流等流域治水協議会」は発足以来**“初”**の対面開催であり、**流域治水プロジェクト2.0等について情報を共有した。**
- 大規模氾濫時の減災対策に関する流域自治体の意見としては、ハード整備の加速に加え、各自治体での様々な取り組みの紹介がされ、**情報発信・更なる共有の円滑化**等の意見があった。

協議会概要

- 日 時：令和6年1月25日(木)
- 開催時刻：14:00~16:00
- 場 所：仙台国際センター 2階 大会議室「萩」
- 出席者（構成員）
 - ・宮城県・仙台市・白石市・名取市・角田市・岩沼市
 - ・蔵王町・七ヶ宿町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町
 - ・丸森町・亘理町・山元町・東北農政局・東北森林管理局
 - ・東北運輸局・気象庁仙台管区気象台
 - ・国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター
 - ・東日本旅客鉄道株式会社・東北地方整備局
- 議 事 ① セミナー「防災情報と伝達の工夫」
オフィス気象キャスター(株) 岩谷 氏
- ② 各水防管理者との意見交換
- ③ 流域治水に関する取組の更なる発展について
- ④ 流域内での取組の情報共有

協議会の開催状況



<大規模氾濫時の減災対策に関する首長意見>

- 【仙台市】「**せんだい災害VR**」の運用を開始し、学校や地域での防災教育に活用している。
 - 【白石市】令和元年東日本台風時に、**市民への避難指示の発令の時間を職員に事前周知**することで事前の対応準備ができた。
 - 【名取市】民間企業との協定により、**自動車等の高台避難**にも取り組んでいる。
 - 【角田市】住民の中で、**過去の水害の記憶が避難判断**となっており、避難しない現象が見られた。
 - 【七ヶ宿町】関係する自治体の方々に**七ヶ宿ダムを見学してもらい、上流域としての取組を理解して頂きたい。**
 - 【村田町】**災害時でもネット環境を維持**できるよう、日本インターネットプロバイダー協会と防災協定を結んだ。
 - 【柴田町】国、県などと被災時の**ライフラインの情報共有の円滑化、また内水排除にも引き続き連携が必要。**
 - 【丸森町】町の**防災マップの改訂に加えデジタル版を整備**、住民に向けて発信している。
 - 【亘理町】**テレビのdメニューで町の情報を配信**するなど、情報配信に力を入れている。
- 以上、9市町の首長等より、意見や取組の情報をいただき、活発な意見交換となった。

セミナー風景



講師：岩谷忠幸

気象予報士、防災士
気象防災アドバイザー(予定)
オフィス気象キャスター(株) 代表
気象と地域防災フォーラム 理事

経歴(抜粋)

1992年：東京都立大学 理学部 地理学科卒業
1995年：フジテレビ 気象キャスター
2006年：日本テレビ 気象キャスター
2014年：オフィス気象キャスター(株) 代表取締役

